

2025年3月1日策定  
2026年5月29日改定

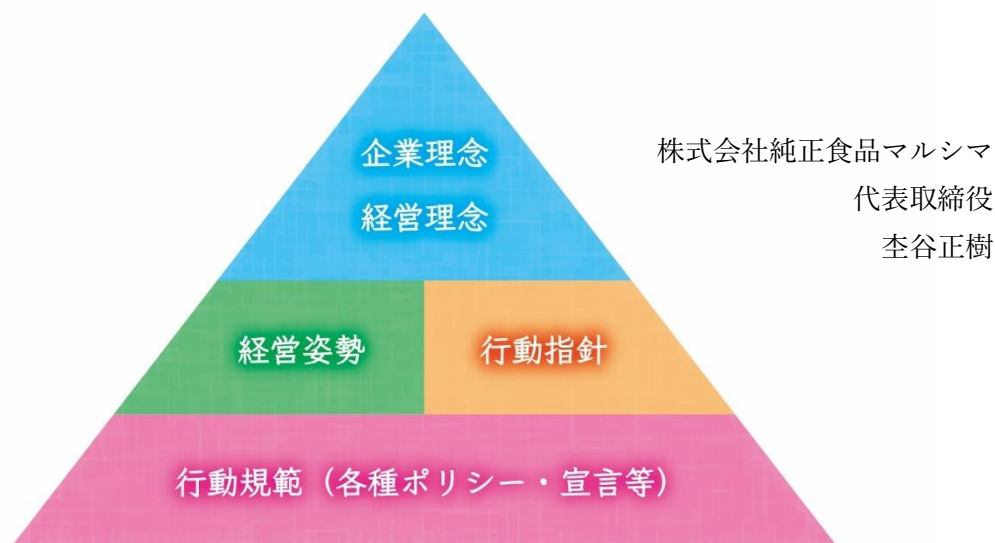
## <純正食品マルシマの理念体系>

マルシマの理念体系は【企業理念】【経営理念】【経営姿勢】【行動指針】【行動規範（各種ポリシー・宣言等）】の5つの柱で構成されています。この理念体系は、マルシマの本社、営業所、工場、直営店など企業全体で共有し、事業を通して、社会にマルシマの思いや姿勢を示すとともに、企業としてより高い価値、満足感を提供するためのものです。

従業員・役員はこの理念体系と自らの役割を認識し、この理念体系の理念、姿勢、指針、ポリシー等に基づいた行動を行うものとします。また、業務を社外に委託する場合は、委託先にもこの体系の内容を共有し、理解、共感いただいた上で、この理念体系に従った業務遂行を要請します。

制定および改廃についてはマルシマの営業部と商品部をはじめとした複数部署の審議を経て、取締役会で決定するものとします。また、この理念体系の遵守状況および実効性を確認する必要がある場合は、営業部と商品部の2部署または第三者による監査を実施するものとします。

合わせて、この理念体系に反する、または反するおそれのある行為が行われていることを知った従業員・役員等は、マルシマが設置する窓口（担当者）または外部通報窓口へ報告や相談をすることが求められます。この場合、報告・相談者のプライバシーは最大限保護されなければならず、また、報告・相談したことを理由とするいかなる報復措置も許容されません。この理念体系に抵触する行為を行った場合は、その内容に応じて、社内規則に基づき処分の対象となる場合があります。また、この理念体系の解釈・運用等についての疑義等がある場合には、各部署の上長などに照会することとします。



### 【企業理念】

おいしい笑顔で明日をつなぐ

### 【経営理念】

人と地球とともに歩み 成長し続ける企業

### 【経営姿勢】

まじめにおいしい商品やサービスを通して  
持続可能なより良い社会の実現と  
安心で、楽しく、健やかな毎日の食卓に寄り添います

### 【行動指針】

- 1.まじめにおいしい商品やサービスを追求します〈お客様との5つのお約束〉
- 2.法令の遵守をはじめ高い倫理感に則った事業活動を行います〈ガバナンス〉
- 3.豊かな自然を取り戻す社会貢献活動を積極的に行います〈サステナビリティ〉
- 4.多様性を尊重した少ストレスな社会・労働環境を目指します〈ダイバーシティ〉
- 5.多くの人に喜ばれる事実に基づいた正しい情報を発信します〈ソーシャルメディア〉

### 【行動規範（各種ポリシー・宣言等）】

本規範は、私たちが理念体系を実践する上での、価値観や考え方、行動基準、特に法令の遵守をはじめ高い倫理感に則った活動を行うための行動をより具体的に示したものであり、マルシマの従業員・役員一人一人が、本規範に基づき、常に誠実に行動することで、将来世代に対する責任を認識しつつ、マルシマ理念の実現、持続可能な成長を目指すものです。

以下に記載する各種ポリシーや宣言等は、行動規範を構成する重要な要素であり、これらポリシー等の実践行動の質は、株主や顧客等ステークホルダーへ提供する、マルシマの企業価値や商品やサービスに対する満足度の高さに大きく影響します。

私たちはこのことを十分に理解し、以下のポリシー・宣言等の遵守を基本姿勢とします。

- ・ポリシー：〈コーポレートガバナンスポリシー〉〈サステナビリティポリシー〉  
〈ダイバーシティポリシー〉〈ソーシャルメディアポリシー〉  
〈プライバシーポリシー〉
- ・宣言等：〈まじめにおいしい〉〈お客様との5つのお約束〉〈純正食品マルシマ 定款〉

以上

## 〈コーポレートガバナンスポリシー〉

### ○コーポレートガバナンスポリシーの目的

本ポリシーは、株主、顧客企業、パートナー企業、従業員、消費者等あらゆるステークホルダーに対する責任を果たすための基本的な考え方を定めるもので、従業員・役員一人一人が本ポリシーに沿った事業活動を行うことで、当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上のための、実効性あるコーポレートガバナンスの実現を目的に制定します。

### ○コンプライアンスの徹底

私たちは、透明・健全で社会から信頼される企業であり続けるため、各国・地域の法令を遵守し、現地の文化や慣習も尊重し、企業倫理に則った、公平・公正な事業活動に徹します。

### ○腐敗行為の禁止

- ・贈収賄、職権の濫用、マネーロンダリング、インサイダー取引等のあらゆる形態の腐敗行為(権限や優越的な立場を会社・個人の利益のために不当に用いる行為)を禁止します。
- ・とりわけ、国内外の公務員等やビジネスパートナーに対し、社会慣習上適正と認められる範囲を超えて、不当な金銭・寄付金・贈答品・接待・その他の財産的利益を供与および授受すること(贈収賄)はしません。
- ・また、贈収賄に当たらない贈答・接待は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。

### ○政治・行政との公正な関係

- ・違法な政治献金等の政治・行政との癒着が疑われる行為はせず、健全かつ透明性の高い関係性を維持します。
- ・個人的に政治活動を行う際は、個人としての活動であることを明確にし、また、会社業務の遂行に支障を来し、政治資金規正に反することはしません。

### ○食品関連法令の遵守

- ・消費者や顧客企業からの信頼に応えるため、研究開発、製造、保管、流通および市販後のあらゆる場面において、食品等の安全性および品質の確保に関する法令や内部基準を遵守します。
- ・食品等の市販後も安全性について調査・情報収集し、有害事象が発生した疑いがある場

合は、直ちに安全確保に努めるとともに、迅速に当局へ報告します。  
・研究開発においては、客観的で正確なデータに基づき、必要な情報を適切に開示します。

#### ○消費者・業界関係者との関係性

私たちは、消費者(消費者団体を含みます)・業界関係者との交流にあたり、関係法令・通知等および業界自主規制を遵守し、健全かつ透明性の高い関係性を維持します。

#### ○誠実・公正な取引の実施

- ・独占禁止法等の公正で自由な競争を確保することに関する法令(競争法)や内部ルールを遵守し、ビジネスパートナーと誠実で公正な取引を行います。
- ・競合他社とカルテル、入札談合等の不当な取引制限を行いません。
- ・取引上の優越的な地位を濫用するなど、不公正な取引方法を用いてビジネスパートナーと取引を行いません。

#### ○利益相反の禁止

- ・個人的な利害によって業務上の判断・行動に影響を及ぼすことがないように、公私のけじめをつけます。
- ・事業活動の過程で、マルシマと家族を含め個人的な利害が対立する可能性が生じた場合は、その旨を適時適切に開示するなどして、最大限回避を図ります。

#### ○適正な会計処理

- ・事実関係に基づき会計帳簿・証憑を正確に作成・記録し、保管します。
- ・適正な財務報告を行い、不正な会計処理を行いません。
- ・入出金は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。
- ・各国・地域における税務コンプライアンスを徹底し、適正に納税します。

#### ○インサイダー取引の禁止

- ・マルシマやビジネスパートナーに関する未公表の重要事実を利用して株式等の売買等(インサイダー取引)を行いません。
- ・業務を通じて知り得た未公表の重要事実を他者に提供するなど、インサイダー取引を誘発する行為を行いません。
- ・マルシマが発行する株式等を売買等する場合は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。

#### ○輸出入管理規制の遵守

私たちは、原材料、製品、設備・機器、ソフトウェア、技術等を輸出・輸入するにあつ

ては、外国為替法、外国貿易法その他輸出入等の規制に関する国内外の法令を遵守するとともに、関連する内部ルールに従い、所要の手続を適正に行います。

#### ○反社会的勢力への対応

- ・市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的な団体・個人(反社会的勢力)と一切関係を持ちません。
- ・不当な要求には断固たる態度で臨み、マネーロンダリングへの関与や反社会的勢力への利益・便宜供与は行いません。
- ・反社会的勢力より不当な働きかけがあった場合は、上職者および所管部署に報告の上、警察当局とも連携しつつ適切に対応します。

#### ○ステークホルダーとのコミュニケーション

私たちは、あらゆるステークホルダーの期待に応え、信頼を得るために、様々な機会・メディアを通じての誠実な対話を大切にします。また、マルシマに関わる情報を公平・公正に、透明性高く、かつ、わかりやすく提供し、ステークホルダーへの説明責任を果たすとともに、相互理解を促進します。また、ステークホルダーの声に積極的に耳を傾け、事業活動、製品・サービスに反映することで、「健康・安心」への期待に応えていきます。

#### ○適時・適切な情報の提供

- ・「適時・適切な情報開示」の精神に則り、透明性・公平性・継続性に配慮した迅速かつ積極的な情報提供に努めます。
- ・財務情報に加え、経営戦略、ガバナンス、リスク、社会・環境課題等に関する非財務情報についても積極的に提供します。

#### ○ソーシャルメディアの利用

- ・ソーシャルメディアを利用する際は、プライベートでの利用であってもマルシマの一員としての自覚と責任を持ち、ソーシャルメディアポリシーに従って利用します。
- ・ソーシャルメディアで情報・意見を発信する際は、会社・個人のいずれの立場でのものであるかを明確に区別し、個人の発信が会社の立場・意見を代表しているかのように誤解されるおそれのある発信はしません。また、他者の名誉を毀損したり、他者を侮辱するような発信もしません。

#### ○会社資産・情報の適切な管理・利用

私たちは、会社資産を適切に管理し、利用します。会社資産には、設備や物品等の有形資産だけでなく、知的財産、情報やシステム等の無形資産が含まれることを理解しています。

#### ○知的財産権の尊重

- ・知的財産の創出に努め、知的財産を活用することにより、製品・サービスの新たな価値の創造に繋げるとともに、社会課題の解決や社会の発展に寄与します。
- ・競争優位性の源泉である知的財産の重要性を理解し、自社の知的財産権確保に努めます。
- ・第三者による不当な侵害から自社の知的財産を保全します。また、第三者の知的財産権を尊重し、不当な侵害や無断使用を行いません。

#### ○機密情報の保護

- ・機密情報には書面等の有形物に記載・記録されたものだけでなく、電子データ・ノウハウ・アイデア等の無形のものも含まれることを理解し、内部ルールに従ってそれらを適切に管理します。
- ・第三者の機密情報を不正に入手したり、契約等の合意に基づかないで不正に利用・開示しません。
- ・自社の機密情報について、公共の場所やソーシャルメディア等で話題に出すなど、無断で第三者に開示し、漏洩しません。

#### ○個人情報の保護

- ・個人情報の取得・利用・提供にあたって関連法令を遵守するとともに、不正な手段により取得したり、不正な目的で利用したり、不法に第三者へ提供しません。
- ・個人情報は、安全管理措置に関する内部ルールに従って適切に管理し、外部に漏出させません。

#### ○会社資産の保全・適正利用

- ・会社の資産、物品、情報システムその他の財産は会社の事業運営のためのみに利用し、会社の利益を害したり、自らや第三者の利益を得るためなどの不正な目的で利用しません。
- ・情報システム、デジタル機器は、会社によりセキュリティ等の安全性が確認されたもののみを利用します。

#### ○危機管理の強化

私たちには、ますます多様化していくリスク要因に備えて、かつ、事業への影響を最小化するべく、適切・実効的な危機管理体制を整備し、不断にその強化を図る必要があります。一人一人が常に危機意識を持ち、危機が発生した際に即応できるよう、組織防衛上必要とされる施策・対策を平時から準備しておくよう努めます。

#### ○事業継続に向けた対応

- ・大地震等の自然災害やパンデミックの発生等、重大な危機が発生した際は、早期に事業活

動を復旧させ、食品・医薬品の供給責任を果たすよう努めます。

- ・自然災害やパンデミックが発生した場合は、役員・社員と地域住民の安全を第一に行動し、早期の事業回復に向けて対応します。

#### ○サイバーセキュリティの強化

- ・事業継続の基盤である情報システムへのサイバー攻撃に備え、セキュリティの強化に取り組みます。
- ・グループポリシー・内部ルールを遵守し、必要な対策を講じることで不正アクセスや情報流失の防止に努めます。
- ・セキュリティ事故の防止に努め、万一事故が発生した場合には、速やかに所管部署へ報告し、被害の拡大と再発防止に努めます。

#### ○テロ・紛争等に関する危機管理

- ・テロ・紛争等の発生や社会情勢の急激な変化に備え、日頃から情報収集および安全対策への反映に努めます。
- ・テロ・紛争等から役員・社員の安全を守るとともに、事業への影響の最小化に努めます。

#### ○適切に判断するために

私たちは、自分の行動に確信が持てない場合には、次の観点も踏まえて適切に判断するよう努めます。

- ・その判断は法令や業界ルール、グループポリシー・内部ルールに適合していますか？
- ・その判断にはインテグリティが反映されていますか？
- ・その判断の正しさをステークホルダーに対し自信を持って説明できますか？
- ・その判断に関し自分の家族に対して胸を張れますか？

それでも判断できないような場合には、上職者や自社の関係部署に相談します。

#### ○内部通報

マルシマでは、内部通報・相談窓口(会社により外部受付窓口も)を設置しており、コンプライアンス違反またはそのおそれを認知した場合に当該窓口を利用することができます。

- ・通報・相談に関しては秘密として厳守されます。
- ・匿名での通報・相談も可能です。
- ・通報・相談したことを理由に不利益な取り扱いを受けないことが保障されます。

私たちは、この本ポリシーが実効的なものとなるよう、内部通報・相談窓口を適切に利用します。

以上

## 〈サステナビリティポリシー〉

### ○サステナビリティポリシーの目的

マルシマの事業は豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、自然環境に配慮した事業活動を行います。そして環境にかかわる法令・条例、関係者との協定、業界規範、自主基準を遵守します。本ポリシーは事業を支える自然との共生を目的として制定します。

### ○脱炭素社会の実現への貢献

- ・気候変動を解決すべき重要な社会課題の一つとして認識し、脱炭素社会の実現に向けてCO2などの温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの活用に努めます。
- ・オゾン層の保護や地球温暖化防止のため、フロンの使用量削減や漏洩量抑制に努めます。

### ○生物多様性の保全・再生

私たちは、豊かな自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、原材料調達から廃棄に至るサプライチェーン全体を通じた事業活動において、生物多様性への影響を把握し、その保全・再生に向けた取り組みを推進します。

### ○循環型社会の実現への貢献

私たちは、循環型社会の実現に向け、製品のライフサイクル全般およびあらゆる事業活動において、廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化を推進し、自然環境への負荷を限りなくゼロにしていくチャレンジを続けていきます。

### ○水資源の確保

- ・水の使用量の削減や適正な排水管理などによって環境負荷低減に取り組んでいきます。
- ・森林保全活動を通して水源涵養にも取り組んでいきます。

### ○環境汚染の防止

私たちは、事業活動由来の環境汚染を防止するために、環境関連法令の遵守を徹底するとともに、サプライチェーン全体で環境汚染ゼロに向けた取り組みを推進します。

### ○責任ある調達

- ・原料の調達にあたり、人権、環境等の社会的責任に配慮した持続可能な調達を推進します。

- ・サプライチェーン上の人権・環境課題が認識された場合は、サプライヤーと連携し責任をもって解決に努めます。

#### ○動物福祉(アニマルウェルフェア)

- ・国際獣疫事務局(OIE)の基本原則である「5つの自由」に従い、家畜の健康と福祉に配慮した取り組みを推進します。
- ・動物実験の実施に際しては、「代替法の利用」「使用数の削減」「苦痛の軽減」の3Rの原則を考慮した上で行います。なお、食品の商品開発においては、外部委託を含めてヘルスクレームを実証するための動物実験を行わない方針です。ただし、法的に求められ、代替試験法がない場合は、やむを得ず動物実験を行うことがあります。

#### ○良き企業市民としての社会への貢献

私たちは、豊かで持続可能な社会の実現に向けて、良き企業市民として地域社会における諸課題の解決と持続的発展に貢献していきます。

#### ○社会貢献活動の推進

- ・一人一人が地域社会への参画意識を持ち、様々な社会課題の解決や社会貢献活動に積極的に参加します。
- ・個人の自発性を尊重し、社員の社会参加のための環境整備ときっかけづくりに取り組みます。

#### ○外部パートナーとの連携

私たちは、NPO・NGO等の国内外の外部パートナーと連携し、あらゆる社会課題や支援活動に取り組みます。

以上

## 〈ダイバーシティポリシー〉

### ○ダイバーシティポリシーの目的

社会に対して様々な責任を負う私たち企業には、あらゆる国・地域において人権を尊重し事業を展開する責任もあります。また、私たちは、すべての人が生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等であると認識しています。

したがって、本ポリシーは従業員・役員全員が企業活動のあらゆる場面において人権を尊重することで、持続可能な社会の発展に貢献し、また私たち従業員・役員一人一人の人権の尊重や働きやすい労働環境の整備についても適切に、継続的に取り組み、心身ともに充実し安心して働くことのできる職場をつくることを目的に制定します。

### ○人権の尊重

- ・国際的に認められた人権を理解し、全ての人々の人権に配慮した事業活動を行います。
- ・全ての人々に対し、いかなる理由があっても不当な差別やハラスメントを行いません。
- ・あらゆる形態の児童労働、強制労働および人身取引を排除し、許容しません。
- ・ビジネスパートナーに対しても人権の理解・尊重を求め、適切な取り組みが行われるよう積極的に支援します。

### ○取り組みと救済

- ・事業活動における人権侵害のリスクを評価し、人権への負の影響を防止・軽減するための対策を検討、実施します。
- ・人権侵害を引き起こしたり、助長していることが明らかになった場合は、速やかにこれを是正し、被害者の救済を図ります。

### ○健全で働きやすい職場づくり

お客さまの「健康・安心」への期待に応えていくためには、私たち自身が健康で安全・安心に働き、組織・個人の力を最大限に発揮する必要があります。私たちは、職場で働く人々の多様性を尊重するとともに、安全・安心で働きやすい職場環境を整備し、コミュニケーションを重視した創造的で活力ある組織をつくりまします。

### ○健康で安全・安心な職場づくり

- ・こころとからだの健康に貢献する企業の一員であるという自覚の下、一人一人が自身の健

康維持・増進に努めるとともに、皆が心身ともに充実し安心して働くことのできる職場をつくります。

- ・各種労働法令を遵守し、過重労働の撲滅に取り組みます。
- ・「安全は全てに優先する」という認識のもと、職場の安全確保、労働災害ゼロの実現に継続的に取り組むとともに、安全文化の醸成に向け社員が相互に意識を高め合う職場をつくります。
- ・社員と会社間、社員同士において、誰もが安心して意見できる誠実なコミュニケーションを重視し、皆がイキイキと働くことができる職場をつくります。

#### ○多様性の尊重

- ・性別、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、性表現、年齢、国籍、宗教、健康、障がいの有無、雇用形態、キャリア、育児・介護中などの多様な背景や、一人一人の価値観・知見・能力などのあらゆる違いを尊重し合い、多様な人財が働きがいをもって様々な職務で活躍できる環境をつくります。
- ・お互いの多様な価値観を活かし合い、イノベーションや新たな価値を創造し、企業成長に繋がります。

#### ○組織・個人の活力と能力の発揮

- ・個人の能力を最大限に発揮させる創造的で活力ある組織をつくります。
- ・社員が活力をもって働き続けられるよう、ワークライフバランスに配慮した働き方を推進します。
- ・主体的に自らの能力を発揮し、成長できるよう努めます。
- ・社員が自らの能力を発揮し成長できるよう、一人一人の適性や個性を尊重し、人財の育成に取り組みます。

#### ○差別の禁止

- ・人種、性別、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、性表現、年齢、国籍、言語、宗教、障がい、出自、財産その他の身分・地位による不当な差別を行いません。
- ・採用、解雇、昇進、報酬および手当、研修または退職などの人事処遇に関し、能力や実績に基づいて判断し、公平・公正に取り扱います。

#### ○ハラスメントの禁止

- ・いかなる事由があってもパワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどのあらゆるハラスメントを許容しません。
- ・ハラスメントのない、人々が互いに尊重し合う職場をつくります。

○公平・公正な処遇の実現

- ・各国・地域の法令によって定められた最低賃金等の労働条件を遵守し、公平・公正に処遇します。
- ・社員それぞれの意思に基づき、結社の自由および団体交渉権を尊重します。

以上

## 〈ソーシャルメディアポリシー〉

### ○ソーシャルメディアポリシーの目的

私たちは、ソーシャルメディアをお客様や社会との大切なコミュニケーションの手段であると考えます。その上で、本ポリシーは、マルシマの従業員・役員等（以下、「社員等」）をその適用対象とし、社員等がソーシャルメディアを利用するにあたり、法令やマルシマの【経営姿勢】【行動指針】および「ソーシャルメディア利用上のルール」、ならびに以下に定める基本姿勢を遵守し、適切な方法・内容によるコミュニケーションを心がけ、お客様や社会との良好な関係を築いていくことを目的とします。

### ○ソーシャルメディアの定義・具体例

本ポリシーにおいてソーシャルメディアとは、インターネットを利用し、個人や団体による情報発信と不特定多数による閲覧が可能なメディア（SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、掲示板サイト、ブログ、画像共有サイトや動画共有サイトなど）をいいます。

また、公式アカウントとは、マルシマが事業の一環として運用する公認のアカウントをいいます。

### ○ソーシャルメディアの利用等にあたっての基本姿勢

私たちは、ソーシャルメディアの利用および公式アカウントの運営にあたっては、プライベートでの利用であってもマルシマの一員としての自覚と責任を持ち、次の基本姿勢を遵守し、良識ある社会人として、節度ある態度で適切なコミュニケーションを行います。

- 1.常に正直に、誠実な対応を心がけます。
- 2.コミュニケーションの相手に敬意を表し、相手の発信に傾聴の姿勢を忘れません。
- 3.身分を偽ることなく、良識ある者として情報発信や対応を行います。
- 4.公開した情報は、完全には削除できないことを認識し、情報発信や対応に責任を持ちます。
- 5.個人情報や機密情報など、情報の取扱いに十分配慮します。
- 6.著作権をはじめとする知的財産権やプライバシーを侵害しないこと、名誉・信用を毀損しないことなど、第三者の権利に十分配慮します。

### ○ソーシャルメディアご利用の皆様へ

社員等が公式アカウント以外でソーシャルメディアにより発信する情報は、必ずしもマルシマとしての見解を表すものではありません。公式見解・発表については、マルシマのウェブサイト、ニュースリリースおよび公式アカウントなどをご確認ください。

以上

2026年6月10日  
株式会社純正食品マルシマ

## 〈プライバシーポリシー〉

株式会社純正食品マルシマ（以下「当社」といいます。）は、お客様、お取引先様、採用応募者様、従業員等の個人情報を適切に保護することが、社会的責務であると認識しております。当社は、個人情報の保護に関する法律その他関連法令・ガイドラインを遵守し、以下の方針に基づき、個人情報の適切な取得・利用・管理に努めます。

### 1. 法令等の遵守

当社は、個人情報の保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、個人情報を適切に取り扱います。

### 2. 個人情報の取得について

当社は、適法かつ公正な手段により、業務遂行上必要な範囲で個人情報を取得いたします。

### 3. 個人情報の利用目的

当社は、取得した個人情報を、以下の目的の範囲内で利用いたします。

#### （1）お客様に関する個人情報

商品の発送、代金決済、アフターサービスの提供  
ご注文内容、ご登録内容等の確認  
お問い合わせ、ご相談、ご意見への対応  
キャンペーン、アンケート、イベント等の実施  
メールマガジン、商品情報、サービス情報等のご案内  
商品・サービス改善およびマーケティング分析  
ウェブサイト利用状況の分析および利便性向上  
不正行為の防止および安全管理

#### （2）お取引先様に関する個人情報

業務上の連絡  
契約の締結および履行  
商談、打合せ等の実施  
商品・サービスに関するご案内

### (3) 採用応募者様に関する個人情報

採用選考

採用に関するご連絡

入社手続き等の実施

### (4) 従業員および退職者に関する個人情報

人事・労務管理

給与、福利厚生、安全衛生管理

官公庁等への届出・報告

退職後の諸手続きおよび連絡

## 4. 個人情報の安全管理

当社は、個人情報への不正アクセス、紛失、漏えい、改ざん、破壊等を防止するため、必要かつ適切な安全管理措置を講じます。

また、個人情報を取り扱う従業員に対し、適切な教育および監督を行います。

## 5. 委託先の監督

当社は、利用目的の達成に必要な範囲内で個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その際は、適切な委託先を選定し、必要かつ適切な監督を行います。

## 6. 第三者提供について

当社は、次の場合を除き、ご本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供いたしません。

法令に基づく場合

人の生命、身体または財産の保護のために必要な場合

公衆衛生の向上または児童の健全な育成推進のため特に必要な場合

国の機関または地方公共団体等に協力する必要がある場合

## 7. 共同利用について

当社は、業務遂行上必要な場合に限り、法令に従って個人情報を共同利用することがあります。その場合は、共同利用する項目、利用目的、共同利用者の範囲および管理責任者をあらかじめ公表いたします。

## 8. Cookie 等の利用について

当社ウェブサイトでは、サービス向上および利用状況分析のため、Cookie その他これに類する技術を利用する場合があります。

これにより取得した情報は、個人を特定できない形で統計的に利用するほか、お客様に適した情報提供等に利用する場合があります。

ブラウザの設定により Cookie の利用を拒否することも可能ですが、一部サービスがご利用いただけない場合があります。

#### 9. Google アナリティクスの利用について

当ウェブサイトでは、サイトの利用状況を把握し、サービス向上を図るため、Google LLC が提供するアクセス解析ツール「Google アナリティクス」を利用しています。

Google アナリティクスにより収集される情報は匿名であり、特定の個人を識別するものではありません。

なお、収集された情報はGoogle社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。Google アナリティクスの利用規約および Google 社のプライバシーポリシーについては、以下をご確認ください。

[Google アナリティクス利用規約](#)

[Google プライバシーポリシー](#)

#### 10. 保有個人データの開示等について

ご本人から、当社が保有する個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供停止等の請求があった場合には、ご本人確認のうえ、法令に従い適切に対応いたします。

#### 11. お問い合わせ窓口

個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、下記窓口までご連絡ください。

株式会社純正食品マルシマ

住所：〒722-0051 広島県尾道市東尾道 9 番地 2

電話番号：0848-20-2506

メールアドレス：[marusima@junmaru.co.jp](mailto:marusima@junmaru.co.jp)

問い合わせフォーム：<https://junmaru.co.jp/inquiry/>

#### 12. プライバシーポリシーの改定

当社は、法令改正その他必要に応じて、本プライバシーポリシーを改定する場合があります。改定後の内容は、当社ウェブサイト等に掲載した時点から適用されます。

以上